

教員名	ワタナベ ミズキ 渡部 瑞希	所属学科	観光政策学科
【ゼミでは何を学ぶのか】 本ゼミでは、フィールドワーク（FW）の技法を学修します（インタビュー方法論、参与観察、映像分析、会話分析など）。その上で、ゼミ生がそれぞれの研究テーマを定め、自らの関心に沿ってFWを実施します。また、本ゼミでは、FWで得た結果をわかりやすくまとめるエスノグラフィの記述についても学修するので、実学と座学の両面を学修することができます。			
【どのように学ぶのか】 <u>基礎演習（2年次）</u> ①文献購読を通じてFWの技法を学修し、ゼミ内でFWの練習をします。 ②ゼミ生個人の研究テーマを、ゼミ内部で意見交換しながら決めていきます。研究は一人の力ではなく助け合いの精神で成り立つものです！ <u>演習Ⅰ（3年次）</u> ①各自の研究テーマに即したFWを実施し、ゼミ内でその成果を報告しつつ調査内容を深めていきます（FWは授業時間外にそれぞれ自由に行い、ゼミは相談と発表の時間になります） ②各自のFWで得た結果を発表し卒業論文につなげていきます。 <u>演習Ⅱ（4年次）</u> ①補足調査として引き続き、各自でFWを実施します。 ②FWの内容を記述する方法を学修しつつ、卒業論文としてまとめていきます。			
【学んだことはどのように生かせるのか】 FWの技法を学ぶ極意は「現場を的確に知る」ことにあります。これは、どの分野の職業にも必要不可欠です。サービス産業、マーケティング、広告等、国際協力の業界で現場調査の強みを活かして下さい。また、FWで培ったコミュニケーション能力、収集データの結果を簡潔に文書にまとめる能力も、どの業界でも求められます。そのため、本ゼミで得られるスキルはより幅広い業界に適用可能になります。			
【おすすめの入門書・基本テキスト】 小田博志『エスノグラフィ入門 〈現場〉を質的研究する』（春秋社、2023） 菅原和孝『FWへの挑戦―“実践”人類学入門』（世界思想社、2006）			

【まだ見ぬ君へのメッセージ】

高校までの勉強は、与えられた問に答えるだけの単純なものです。しかし、大学での学びはそれとは逆に、自ら問いを立てて解決していく能力が求められます。本ゼミは、皆さん自身の関心に沿った研究テーマを設定し、自身で解決していく力を養うものです。大学時代に「自分はこれをやった！」と言える何かを一緒に作りましょう。